



群馬県立がんセンターだより

第34号

発行 平成29年2月 群馬県立がんセンター

理 念

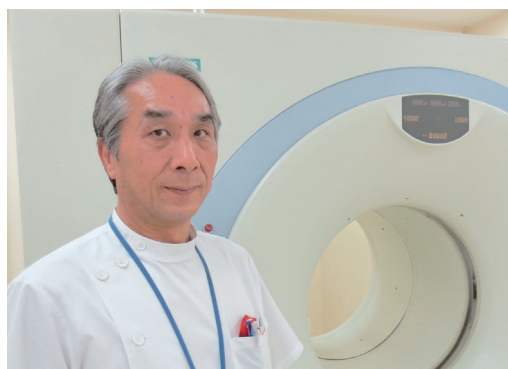
私たちは、患者さんの意思を尊重するとともに地域と連携し、高度のがん医療を提供します。

基本方針

1. 患者さんの権利と意思を尊重します。
2. 地域と連携し、適切ながん医療を提供します。
3. 教育と研修を充実し、優れた医療人を育成します。

放射性同位元素の使用が新たな時代に

昨年末、元素名に「ニホニウム」という名が登録されたニュースをお聞きになった方も多いと思います。放射線という福島原発事故以来、負のイメージが大きいなか、久々の明るい話題でありました。名付けられた原子番号113のニホニウムには安定同位体は存在せず、 α 線を放出して他の元素（レントゲニウム：原子番号111）に変化します。最長の半減期でも ^{286}Nh の19.6秒といわれており、地球の長い歴史から見れば自然界に存在しないのも当然ですが、理論上は未だに見つかっていない元素や同位体は相当数あるといわれています。



放射性同位元素を用いた核医学診断は現代医療に不可欠なものとなっており、PET検査を受けられた方も多いと思います。使用される ^{18}F -FDGからは β^+ （陽電子）が放出され、この陽電子が消滅するときに511keVの放射線を出します。使用する放射性同位元素を選択するに当たっては、数時間程度の扱いやすい半減期と適度な強さの γ 線（X線）のエネルギー（一般にX線CT装置は70keV程度といわれています。）が重要であり、全ての条件を満足する放射性同位元素はありません。ましてや従来から α 線や低エネルギー β 線は放射線被曝を増やすだけの厄介者でありました。しかし、昨年6月に ^{223}Ra という放射性同位元素が発売されました。これは α 線を放出するのですが、診断ではなく放射線治療に用いられます。

薬剤を用いた検査・治療においては、いかに目的とする臓器や組織に特異的に集積させ、適度な時間留まらせるかが重要です。 α 線は陽子・中性子2個ずつから成るヘリウムの原子核であり、 β 線（電子）の約7300倍の質量と電荷を持っていますので、内部に取り込まれさえすれば大変大きな効果を生み出します。これはがんの陽子線治療や重粒子線治療と同じことが言えます。当院では現在、この薬剤の導入に向けて諸々の準備を進めています。

私が学んだ40年前の教科書を^{ひもと}くと、 $^{113}\text{m}\text{In}$ 、 ^{198}Au 、 ^{75}Se 等々、いまでは発売されていない放射性同位元素や標識化合物が数多く並んでいます。また、RIA（放射免疫測定）で用いられていた ^{125}I のように放射線治療用のSEED線源として生きているものもあります。このように、いつか必ず患者様の検査・治療に最適な薬剤が発売されることを期待しています。

最後に、我々は今後もチーム医療の一員として、患者様に対し高度ながん医療を提供して行きたいと考えております。

技術部長 篠原 康治

部署紹介

通院治療センターが5階に移転しました

～通院治療センターの使命～



分子標的薬剤、抗体薬などの第 I 相試験から始まり臨床腫瘍学の現場はこの 25 年間で大きく変わりました。

薬物療法では未承認薬剤の治験、市販直後の抗がん薬、術後の補助治療等を通して多くの患者さんと歩みを共にする使命は当然です。科学と医療の進歩と社会の要請の大きな渦、流れの中で最新の標準治療に追いつく、個別化医療を実現する、内科・外科共にチーム医療の構築を目指すことが今年も外来通院治療センターの目標です。

化学療法部長 通院治療センター長 五十嵐 忠彦

平成 28 年 11 月 24 日より通院治療センターが旧 5 階西病棟に移転し稼働が始まりました。

5 階通院治療センターは、受付をしていただき、専用の待合室にご案内をします。窓からは、赤城山や男体山など美しい山々が見られ、開放感と静かで落ち着いた待合を準備しました。

治療室は全てベッドにし、4 床室は付き添いの方もゆっくりと過ごせるゆとりを確保しています。

また、外来での治療をイメージしていただけるよう、穏やかな音楽や今までの通院治療センターと同じ使い勝手のよい運用にしています。

今回、通院治療センターに新システムを導入し、患者さんの入室から治療時間の経過、待合室の状況、ベッドコントロールなどを把握し、速やかな治療進行へと努めています。

今後は、更に様々な化学療法が通院で可能になっていきます。患者さんの生活スタイルやご要望に添いながら、安全安楽な外来治療に取り組んでいきたいと考えています。



看護師長 小宮 和子

入院支援センターが稼働しました



平成 29 年 1 月 4 日より入院支援センター業務を開始しました。

入院支援センターは、患者さん・ご家族へ、がん治療決定から入院までの期間において、診療・検査で外来受診中、治療に関する説明を行いながら相談支援を実施し、納得のいく治療を選択できるように支援します。同時に悩みや不安を解消できるよう専門部門との調整を行います。

医療者に対しては、入院後に行っていた事務業務を分離させ医師・看護師業務の効率化を図り、患者さんと向き合う時間が充実できるよう支援します。

入院支援センター開設に伴い、入院案内の場所が会計窓口横から採血室横へ変更しております。皆様の動線が長くなってしまいますが、ご協力をお願いいたします。

入院の手続きだけでなく、入院についてわからないことや心配ごとがありましたら、いつでもお立ち寄りください。

看護師長 櫻井 通恵



外来診療のご案内 (外来担当医一覧表)

平成29年2月1日現在

区	分	月	火	水	木	金	
第一外来	内科	消化器	野川 秀之	保坂 尚志	野川 秀之	山下 哲	保坂 尚志
		血液	五十嵐忠彦	五十嵐忠彦 入沢 寛之	村山佳予子	村山佳予子 村田 直哉	五十嵐忠彦
		呼吸器	湊 浩一 (午後/禁煙外来) 藤本 栄	藤本 栄		今井 久雄	
	外科	消化器	福田 敬宏	福田 敬宏	尾嶋 仁 深井 康幸 持田 泰 小川 敦 小澤 大悟	尾嶋 仁(新患) 深井 康幸 持田 泰 小川 敦 小澤 大悟	尾嶋 仁 深井 康幸 持田 泰 小川 敦 小澤 大悟
		乳腺	柳田 康弘 藤澤 知巳 宮本 健志 森下亜希子	柳田 康弘 藤澤 知巳 宮本 健志 森下亜希子	乳腺科医師 (新患のみ)	乳腺科医師 (新患のみ)	柳田 康弘 (遺伝)
		呼吸器			藤田 敦 小野里良一		藤田 敦
		形成	廣瀬 太郎				廣瀬 太郎
	精神腫瘍科				村上 忠		(午後ストーム外来)
第二外来	婦人科	中村 和人 伊吹 友二 木暮 圭子 内山 陽介	中村 和人 伊吹 友二 木暮 圭子 内山 陽介	鹿沼 達哉	中村 和人	中村 和人 伊吹 友二 木暮 圭子 内山 陽介	
	歯科口腔外科	新垣 理宣		新垣 理宣		新垣 理宣	
	頭頸科	鈴木 政美 井田 翔太 (午前再診)		鈴木 政美 井田 翔太 (午前再診)		鈴木 政美 井田 翔太 (午前再診)	
				鈴木 政美 井田 翔太 (午後新患)		鈴木 政美 井田 翔太 (午後新患)	
	麻酔科	麻酔科医師				麻酔科医師 (午前 術前診察)	
	泌尿器科	清水 信明 蓮見 勝 泌尿器科医師 (午後、新患のみ)	清水 信明 村松 和道 泌尿器科医師 (午後、新患のみ)	(1日リンパ外来)		清水 信明 蓮見 勝 村松 和道	清水 信明 蓮見 勝
放射線科	放射線	江原 威謙 安藤 謙 川原 正寛	江原 威謙 安藤 謙 川原 正寛	江原 威謙 安藤 謙 川原 正寛	江原 威謙 安藤 謙 川原 正寛	江原 威謙 安藤 謙 川原 正寛	

※緩和ケア外来の受診を希望される方は“がん相談支援センター”へお問い合わせください。直通電話：0276-60-0679

冬季流行感染症 (インフルエンザ・感染性胃腸炎) の感染防止のお願い

- 冬は、インフルエンザや感染性胃腸炎などの感染症が流行しやすい時期です。感染症の持ち込みを防ぐため、お急ぎでない場合には、面会をお控ください。
- 発熱、咳、鼻水、のどの痛み、嘔吐、下痢などの症状がある方、冬季流行感染症にかかってから1週間未満の方、抵抗力の弱い子供さん (12歳以下) の面会をご遠慮ください。
- 来院の際は、手指消毒をお願いします。また、院内ではマスクの着用をおすすめします。

<ご理解ご協力のほど、よろしく申し上げます>

診察予約 (初診、再診ともに予約制です。)

- 初診紹介予約制について**
当センターは「完全紹介予約制」です。初めて受診される方はあらかじめ電話で診療日時の予約をしていただき、診療当日は必ず主治医の紹介状 (診療情報提供書) をお持ちください。また、再来の方も予約制となっておりますので、事前に予約をおとりください。
- がん検診について**
当センターでは、がんの検診 (一次検診) は行っておりません。市町村の検診や人間ドックをご利用ください。検診で異常を指摘された方の診療は行ってあります。

予約電話 0276-38-0762

- 受付時間：午前9時から午後5時 (休診日を除く)
- 電話予約は診察を希望する日の1か月前から前日の午後1時までをお願いします。

※休診日 土・日曜日、祝日、年末年始

入院者の面会時間 午後0時30分～午後7時30分

群馬県立がんセンター

〒373-8550 太田市高林西町617-1
TEL **0276-38-0771** (代)
FAX 0276-38-0614
URL <http://www.gunma-cc.jp>

